

西
条

温
泉

霊峰に抱かれた最上の水都



Saijo 2015

市勢要覧

西条

霊峰に抱かれた最上の水都

風趣



霊峰に抱かれた
最上の水都 3

四国の経済を牽引する
総合6次産業都市 7

対談 西条市長 青野勝
作家 新井満 11

わがふるさと
西条を想う、西条を語る 13

西条ゆかりの偉人たち 15
西条のチカラ 17

- ・ 祭りのチカラ
- ・ 農業のチカラ
- ・ スポーツのチカラ
- ・ 癒やしのチカラ
- ・ 営みのチカラ

まちづくりの基本方針 23

- ・ 健やかに生き生きと暮らせる福祉のまちづくり
- ・ 豊かな自然と共生するまちづくり
- ・ 快適な都市基盤のまちづくり
- ・ 災害に強く安全で安心して暮らせるまちづくり
- ・ 豊かな心を育む教育文化のまちづくり
- ・ 活力あふれる産業振興のまちづくり

行政・議会・組織図等 35

名誉市民・文化遺産 37

西条のあゆみ 39

西条市広域マップ 41





霊峰に抱かれた最上の水都

石鎚山写真：三浦聖

そこには西日本最高峰の霊峰がどっしりとそびえています。そして森へと降りそそぐ雨が、大地に染み込み、恵みの「うちぬき」となって、里を潤します。吹き抜ける風が、住む人に幸せを、訪れる人に感動を。西条市は霊峰に抱かれた最上の水都。風趣に満ちた情景が人々を癒し、活力を与えてくれるまちなのです。



今から1330年前、修験道の開祖とされる役小角えんのわかくさが開いた石鎚山。長く女人禁制の歴史を刻み、多くの修験道者たちがこの山で修行してきました。また、信仰の拠点となる石鎚神社、前神寺、極楽寺、横峰寺などがあり、人々は山そのものに深い畏敬の念を抱いてきました。そのため森林は無闇な開発を逃れ、生い茂る木々は「自然のダム」としての機能を維持し、名水・うちぬきの恩恵を今なお与えてくれています。

西条市の生活や産業を支える「うちぬき」は、市内の広範囲にわたって見られる自噴井のことです。その数は約3,000本といわれ、1日の自噴量は約13万m³にも及んでいます。昭和60年には環境庁より「名水百選」に選定されるなど、水質の良さは折り紙付きです。西条市では、この「うちぬき」を生活用水、農業用水、工業用水として活用しています。また、「うちぬき」や市内を流れる清流が織りなす情景を目にすることができ、趣き深い水の風情を満喫することができます。西条市民は石鎚山と「うちぬき」が西条市にあることを誇りに思い、未来へと引き継ぐためにさまざまな取り組みを展開しています。

「うちぬき」のまち西条

地下水の自噴は、難透水層に挟まれた帯水層の地下水に圧力が加わり、その噴出エネルギーが地表より高い場合に起こります。道前平野には全国でも珍しい自噴地帯が形成されています。



Mount Ishizuchi, which stands at 1,982 meters, is the highest mountain in western Japan. The peak itself became an object of religious worship 1,330 years ago through the religious practices of Shugendō, an ascetic Buddhist sect that believes mountains hold the spirits of deities. The rain that falls on this mountain penetrates the soil and becomes part of the self-pumping ground water called uchinuki to hydrate the valley. This high quality spring water has been selected as one of the "hundred best waters of Japan" and it supports the local agricultural and industrial sectors as well as everyday activities of local residents.

登山やスキーを楽しむ 動植物と出会える霊峰



石鎚国定公園 石鎚成就スキー場

標高1,400mにあり、多くの積雪量を誇る四国屈指のスキー場。初級者用・中級者用・上級者用の3コースを整備。晴れた日には瀬戸内海を一望できます。



石鎚 花絵巻

ここでしか生息・生育・繁殖していない固有種の植物がたくさんあります。石鎚山を訪れる者の目を楽しませてくれる花は枚挙に暇がありません。

- 1 岩の間に咲くキバナノコマノツメ。
- 2 石鎚山系でも数カ所でしか見られないというササユリ。
- 3 西冠岳の南斜面のシモツケソウ。
- 4 アケボノツツジに彩られた春の情景。



霊峰石鎚山 石鎚神社 宮司 武智 正人さん
愛媛県西条市出身。石鎚神社で生まれ育ち、大学卒業後、県外でのお勤めを経て石鎚神社に奉職。2015年2月、宮司に就任。

よつにも感じます。

春から秋にかけては登山に、冬はスキーにと、レジャースポットとしても見どころのある石鎚山。2015年は、役の行者が石鎚山を開山して1330年、明治維新の神仏分離令により石鎚神社として認められて150年、さらに石鎚国定公園指定60周年という節目の年。改めて石鎚山に目を向けていきましょうというメッセージの

石鎚山を見上げると 自然の循環を感じます

Voice

「石鎚山」は最高峰にあたる天狗岳、石鎚神社の山頂社が置かれている弥山、天狗岳に迫るほどの標高の南尖峰の一連の山を総称した呼び名。弥山に至る登山道には、全国でも珍しい4つの鎖場があります。急斜面に架けられた鎖を伝いながらの登山は、石鎚山の風物詩のひとつとなっています。昭和41年には、山麓下谷駅から山頂成就駅までの1,800メートル余りを結ぶ石鎚登山ロープウェイが開通し、昭和60年には、瀬戸内海を一望できる石鎚スキー場がオープン。登山やトレッキング、スキー客が足を運ぶアウトドアスポーツの人気スポットとなりました。

春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪景色と、四季折々の手つかずの自然にふれることができるのもこの山の醍醐味です。石鎚山とその周辺の森は、暖帯林、温帯林、亜寒帯林と非常に変化に富んでおり、そのお蔭で多様な動植物を目にすることが出来ます。亜高山帯針葉樹林としては日本の最南端に位置しており、鳥獣保護区にも指定されています。自然の宝庫である石鎚山では、ここでしか生息・生育・繁殖していない固有種の植物がたくさんあります。5月上旬から下旬にかけて、可憐な花姿で目を惹かせてくれる「イシツチザクラ」もそのひとつ。また石鎚山系の稜線で生育し、7月下旬から8月下旬にかけて開花する「イシツチボウフウ」、8月下旬から10月中旬にかけて開花する「イシツチウスバアザミ」などが固有種として知られています。また、山歩きをしていると、可愛い野鳥と出会うこともあります。石鎚山系には約100種類の野鳥が生息しているといわれています。



自然とふれあえる 絶好のスポット

Mt. Isizuchi, a holy site that holds sacred deities, is a popular spot for outdoor sports, and has the Isizuchi Tozan Ropeway and Isizuchi Ski Resort. The mountain also is a rich natural habitat where visitors will see a wide variety of plants and animals. There are many native plants that only live and breed here, and therefore are particularly valuable.





四国の経済を牽引する 総合6次産業都市

四国一の経営耕地面積と四国有数の製造品出荷額等を誇る西条市は、農業と工業のバランスがとれたまち。当市はこれらの強みを活かして、農産物の生産・加工・貯蔵・流通機能の集約化を図り、産（民間企業）・学（高等教育研究機関）・官（行政）・金（金融機関）の連携により地域に根ざした新産業の創出を目指しています。



田植えを終えたばかりの水田と、背後にそびえる西日本最高峰・石鎚山。



サンライズ西条加工センター内



加工・業務用野菜の産地づくり



官民協同プロジェクト開始
「サンライズファーム西条」



消費者ニーズに適應した
販売体制の構築



全国から有識者が参集した
「総合6次産業都市推進会議」



高等教育研究機関と連携した
人材育成

「総合6次産業都市」とは、農林水産業（1次産業）を基盤とし、製造業（2次産業）の強みを付加し、さらには流通・観光（3次産業）にまでつなぐことで都市として新しい産業や雇用を創出し、その効果を四国全体にも波及させていこうという西条市独自の構想です。

この構想を実現するために当市では、経団連会員企業や、市内JAなどと連携し、先進技術を用いた効率的な農業栽培の実現などに取り組み農業法人「サンライズファーム西条」、農産物加工による付加価値向上などに取り組む四国最大級のカット野菜工場「サンライズ西条加工センター」が設立され、地元農産品を活用した加工品の製造がスタートしました。引き続き、貯蔵施設の整備や流通機能の強化を図ります。

また、構想のスケールアップを目指すため、全国トップクラスの有識者と総合6次産業都市の実現に向けた地域課題の解決策を話し合う「総合6次産業都市推進会議」を開催したり、大学など高等教育研究機関と連携した高度専門人材育成の拠点づくりに取り組んでいます。

こうした先進的な取り組みが評価され、平成27年1月には政府が推進する地方創生のモデル事業の位置づけとなる改正地域再生法に基づく「地域再生計画」の第1号の認定を四国で唯一受けました。

この追い風を受け、地方創生のトップランナーとして地域経済を牽引していきます。



「地域再生計画」認定書

As Saijo City boasts the greatest area of "farmland under management" and one of the largest output of manufactured goods in the Shikoku region, it has a good balance of agricultural and industrial businesses. Taking advantage of this strength, the city is working to create a new community-based industry by integrating the production, processing, storage, and distribution of agricultural products, and through promoting cooperation among private businesses, academic research institutions, public administration, and financial agencies.

農業と工業を融合し

新たな産業づくり。

名水の恵みを受けて

全国に誇れる農産物を生産

西条市では、全国一の生産量を誇る裸麦や愛宕柿、春の七草をはじめたくさん農産物が生産されています。また水稲やメロン、ほうれん草、イチゴ、きゅうり等は県下の生産量を誇っており、愛媛でも屈指の農業地帯となっています。また、新鮮でおいしい農産物を販売する直売所には、県外からも大勢の方が訪れて賑わっており、農業観光ツーリズムも盛んに行われています。



「地域活力の源泉は産業にあり」という想いで積極的な産業振興

整備されたインフラを背景に、臨海部には四国最大規模の工業団地が形成され、30万トン級のタンカーを建造する今治造船をはじめ、アサヒビール、花王サニタリープロダクツ愛媛、クラレ西条事業所、住友金属鉱山、住友重機械工業、日新製鋼、ルネサスセミコンダクタマニユファクチュアリングなどグローバルに活躍する大企業が立地しています。他方、日本のものづくりを支える高度な技術を持つ様々な中小企業も多数集積し、市内には全体で約2,750社の企業が立地しており、製造品出荷額等は8,859億円(平成24年度工業統計調査)にのぼります。



西条市の優れた水質、水源の森に感謝

当社の主力商品である清涼飲料水をつくる上で、水の品質というのは非常に大切になってきます。1992年に稼働を開始した小松第2工場を建てる際、西条市ともう1箇所の候補地があったのですが、水質の良さに加えて、物流の面からも大きなメリットがある西条市が選ばれたという経緯があります。また西条市は、石鎚山が盾になってくれているおかげか、台風などの天災の被害を受けにくい土地。総合的な判断でこの地に工場が建設されたというわけです。

工場では、容器や機械の洗浄など果にたくさん水を使わせていただいています。西条の水が、社業を支えてくれているといっても過言ではありません。また工場ではたくさん西条出身のスタッフが働いてくれています。そこで地域のお役に立ちたいと「コカ・コーラ森に学ぶプロジェクト」を立ち上げ、子どもたちに水源の森の大切さを教育し、清掃活動などを実践しています。今後も西条市の自然に感謝しつつ、良い製品づくりに取り組んで参ります。



四国コカ・コーラボトリング株式会社
山懸 隆博さん
1969年徳島県徳島市生まれ。1992年に四国コカ・コーラボトリング株式会社に入社。現在はグループマネージャーとして、製品の品質管理などを担当。

TOPIX 未来に向けて動く西条市

西条市産業支援センター

「西条市産業情報支援センター」は、新事業の創出や新分野への進出、あらゆる企業活動の支援と情報化を推進するために西条市が設立した公設民営型の産業支援機関。人口10万人規模の自治体において積極的な内発型産業振興事業を実施している事例は全国でも珍しく、平成20年には、長年にわたる内発型産業振興の成果が認められ、日本新事業支援機関協議会(通称JANBO)が実施する「JANBO AWARDS 2007」にて「起業醸成部門賞」及び最高の栄誉である「新事業創出大賞」を受賞しました。今後とも民間企業の経験豊富なスタッフが、様々な相談に対応していきます。



ICT教育推進事業

西条市は、平成23年3月に日本経団連「未来都市モデルプロジェクト」実証地域に選定され「農業革新都市」として「農業分野」および「教育分野」について、それぞれICTを活用した先進的な取り組みを推進しております。

市内すべての小・中学校の普通教室や理科室・音楽室などの特別教室に大型の電子黒板などを設置し、よりわかりやすく質の高い授業を行っていきます。

また、校務支援システムを導入し、校務の効率化を図ることで子どもたちと向き合う時間の確保に努めるとともにICT支援員を巡回配置させることでICT機器の活用を総合的にサポートしていきます。

このようにより豊かで充実した教育環境を構築し、デジタルとアナログ、それぞれの良さを使い分けながら、西条市の将来を担う子どもたちの「生きる力」を育んでまいります。



ICT支援員



電子黒板

産学官連携プロジェクト

産学官が連携し、地域や産業の活性化を目指す取り組みは、現代のトレンドのひとつ。西条市では平成25年11月に愛媛大学と連携協定を締結し、それまでに行っていた連携をさらに強化した体制で推進。現在は、その体制下で防災・医療福祉・産業・教育の多分野において、直面する課題の解決や地域活性化を図っています。



The city of Saijō boasts the highest volume of agricultural production in the country, and the largest industrial complex in the Shikoku region. Combining such strengths, Saijō City is actively working towards developing new industries. It has a well-coordinated support system for businesses interested in breaking into new fields, and is carrying out industry-academia-government cooperation projects and initiatives to promote ICT (information and communication technology) education.



あがふるさと 西条を想う、西条を語る

このまちで生まれた人、このまちを愛する人。各分野で活躍する西条市ゆかりの方々、その魅力を語っていただきました。そこには、ふるさとの新たな魅力が秘められています。

There are many who were born here and continue to love this city. We talked to prominent figures originally from Saijo. Yuto Nagatomo is an international-level professional soccer player, Masafumi Akikawa is a tenor vocalist who is active all over the world, and Nae Udaka is a female judoka who won the gold medal in the 2014 World Judo Championship. We asked them to share their thoughts on what they feel is appealing about Saijo City. We hope that their words will help readers discover new attractive aspects of this city.

生まれ育った 西条市の野山が、 僕の夢の原点です

サッカー選手
長友 佑都さん

Yuto Nagatomo
愛媛県西条市出身。東予市立三芳小学校(現・西条市立三芳小学校)・西条市立神井小学校・西条市立北中学校を経て、福岡県東福岡高校を卒業後、明治大学政治経済学部在学中、体育会サッカー部でプレーし、日本大学選抜に選出される。また、大学在学中にFC東京とプロ契約を結び2008年のキリンカップコートジボワール戦で日本代表デビュー。2010年に海外からのオファーを受けてACチェゼーナへ。現在はインテルナツィオナーレ・ミラノに所属し、日本代表としても活躍中。



僕が生まれた西条の自然と人の温かさが大好きです!

僕が生まれた西条市三芳は、とてもどこかで自然に恵まれた土地。物心ついた頃から野を駆け回り、川で魚を獲り、生家の広い庭でボール遊びをするなど、遊びとい

えば外遊びばかりでした。運動が好きで、誰にも負けない気持ちがありました。身体は小さかったけどガキ大将そのものでしたね(笑)。もうひとつ、得意だったのは

太鼓を叩くこと。三芳祝太鼓を習っていたこともあり、西条まつりでは太鼓を叩くことが僕の使命でした。これは余談ですが、僕は大学時代に怪我で試合に出られない時期がありました。そんなときには応援にまわって太鼓を叩いていました。あまりにも太鼓がうまいというのが評判になり、当時、Jリーグのサポーターから「太鼓を叩いてくれないか」という依頼を頂いたほど。それも西条の祭りのお陰です(笑)。

豊かな自然の中で育んだ運動神経を活かして、三芳小学校1年生(Jリーグ開幕元年)のときにサッカーを始めました。当時、Jリーグがブームになっていた、「僕もあんな風になりたい」と思ったのがきっかけです。でも、本音では憧れていた女の子がいて、その子に「カッコイイ」って思われたかった(笑)。ちょっと不純な動機でしたが、いざサッカーを始めると、サッカーの面白さに目覚めて、気付けばそのとりになっていました。そんな僕の最大のライバルは、2歳年下の弟でした。弟はドリブル一辺倒の僕と違って、トラップも上手いし、パスセンスもありました。一緒に試合に出ることも多かったのですが、「長友兄弟は弟の方が上手いねなんて言われるのが悔しかったですね。でも、身近なライバルのお陰で、一層サッカーに打ち込むことができました。



これからも西条市からプロが生まれることを願って、子ども達の育成にも力を注いでいます。

血が騒ぐ!「西条まつり」は私のルーツです

「西条まつり」の魅力は、「血が騒ぐ」。これに尽きます。一年中祭りのことは頭を離れませんが、夏が終わり、少し肌寒さを感じるだけで、頭の中で太鼓の音が聞こえてきます。私は10月11日生まれですが、生後4日目の10月15日に「西条まつり」デビューし、以来48年、皆勤賞。西条人なら当たり前のことでしょうか(笑)。

大人の勇ましく担ぐ姿に憧れ必死で担いでいた頃があり、いつしか青年団として率先して運行するようになり、気づけば若い世代を見守る立場となりました。祭りの付き合いはもうすぐ半世紀になります。私が一番好きな瞬間は、15日の宮出し。だんじりを担ぎ伊曾乃神社へ向かう、一年間待ちに待った祭りがはじまる瞬間の高揚感はありません。そして、各地区から集まっただんじりが国道11号で合流し、伊曾乃神社へ集結する。この瞬間のだんじりを担いでいる自分が一番好きだし、一番かっこいいと思っています。西条の男ならみんなそうでしょうね。だんじりを担ぐときは



祭りの後、秋川さんが音頭をとり、だんじりを囲んでの大合唱も名物となっています。

全力投球ですが、これは歌の表現の仕方と同じ。一曲に精神力、集中力、体力すべてを出し切るテノール歌手・秋川雅史のスタイルは、「西条まつり」なくしては生まれなかったと思っています。

また、西条人にとって祭りは、地域の結びつきをつくる大きな存在です。だからこそコンサートなどで日本各地をまわっていると、「西条まつりを全国に広めたい」という気持ち湧いてきます。これまでのスタイルは変えずに、どうすればもっとアピールできるか、今後は考えていきたいですね。

「西条まつり」は豪華絢爛。愛郷心を抜きに冷静に考えても、こんなに豪華な祭りはほかにないと思います。ぜひ見に来ていただいて、「血が騒ぐ」感覚を共有しましょう。

強い心身を育んでくれた西条市の豊かな風土

私が柔道を始めたのは6歳のとき。父が西条市内の少年柔道会で指導者をしており、気付けば柔道の道に入っていたという感じです。父は大変厳しい人でした、正直に言う幼い頃は柔道が好きではありませんでした。ただ生来の負けず嫌いなから、負けたくない、強くなりたいとの一心で柔道に取り組んできたように思います。ようやく柔道が楽しく思えるようになったのは、高校時代(愛媛県立宇和島東高)。とはいえ、当時の私には決して世界レベルで戦えるほどの実力はありませんでした。四国ではトップに立てても、全国にはもって強

いライバルがいましたからね。愛媛女子短大(現IPU環太平洋短大)に進み、2年時に全日本ジュニアを制し、初の国際大会となった福岡国際女子柔道選手権大会での優勝で、ようやく柔道家としてのスタートラインに立つことができました。ただ、その後のアスリート人生も決して順風満帆とはいえませんでした。それでも故郷である愛媛・西条の方々の応援のお陰で頑張ることができたように思います。

2014年、ロシア・チェリヤビンスクで開催された世界柔道選手権大会(女子57キロ級)で、世界女王になった際には、我がことのように喜んでくださる故郷の皆さんの姿を見て、「柔道を続けてきて良かった」と心から思いました。毎年のように、西条市の少年少女たちを指導する機会を設けるなど、少しずつですが応援への恩返しをしていきたいと思っています。それと子ども時代の父の厳しい指導にも、ようやく感謝の気持ちをもてるようになりました(笑)。アスリート・宇高菜絵の心身を育んでくれた西条市の豊かな自然や人々への感謝の気持ちを忘れずに、柔道家として、指導者として、柔の道を一筋に歩んでいきたいですね。



祭りの日は必ず西条にいます!

テノール歌手
秋川 雅史さん Masafumi Akikawa

愛媛県西条市出身。国立音楽大学・国立音楽大学院を経て4年間イタリアへ留学。1998年、カンツォーネコンクール第1位、日本クラシック音楽コンクール声楽部門最高位を受賞。2001年に日本人テノール歌手としては最年少でCDデビューし、2006年、新井満氏が日本語の詞をつけ、作曲を手がけた「千の風になって」でNHK紅白歌合戦初出場を果たす。



柔道家
宇高 菜絵さん Nae Udaka

愛媛県西条市出身。コマツ所属。宇和島東高・愛媛女子短期大(現IPU環太平洋短大)を経て帝京大に編入。2014年4月の全日本柔道体重別選手権大会で3度目の優勝を果たし、8月の世界柔道選手権大会では初の世界女王に輝く。



2007年から西条市が開催している柔道教室の様子。2015年1月には、西条市総合体育館で小学生から高校生までの地元の柔道選手約100人に対して、得意の大外刈りのコツなどを熱心に指導しました。



近鉄特急初代ビスタカー10000系(近畿日本鉄道提供)



西条ゆかりの偉人たちの

「新幹線の父」と称される
 「十河信二」、近鉄・中興の祖
 と呼ばれる佐伯勇、教育に
 生涯を捧げた近藤篤山。
 西条市ゆかりの偉人たち
 を紹介します。

四国鉄道文化館北館



近畿日本鉄道の中興の祖 佐伯勇

Isamu Saeki

実業家・佐伯勇は、明治36年に西条市丹原町で生まれました。東京帝国大学(現東京大学)法学部を卒業後、近畿日本鉄道の前身である大阪電気軌道に入社。昭和24年に同社がプロ野球球団(後の近鉄バファローズ)を設立した際には、初代オーナーに就任しました。また本社の七代目社長にも就任し、新型車両の導入や輸送力増強、近鉄グループの拡充などに力を尽くし、その活躍ぶりから「近鉄・中興の祖」と呼ばれています。市内にはゆかりの品々を展示している西条市佐伯記念館・郷土資料館があります。



新幹線の生みの親

十河信二

Shinji Sogo



第4代国鉄総裁を務め、新幹線構想を実現させた十河信二は、「新幹線の父」と呼ばれる人物です。彼は旧制西条中学の卒業生であり、西条市長を務めるなど西条市とは非常に深い縁で結ばれており、西条市の名誉市民にもなっています。世界に前例のない夢の超特急・新幹線の実現に寄与した功績とともに、「雷オヤジ」の愛称で親しまれたなど、その人となりも非常に魅力的であったといわれています。JR伊予西条駅に隣接する「四国鉄道文化館」には、彼が実現させた「0系新幹線電車」をはじめとする鉄道車両が展示され、「十河信二記念館」には直筆の書や愛用品などが展示されています。



四国鉄道文化館南館

教育で藩政再建に貢献

近藤篤山

Tokuzan Kondo

享保17年(1732年)の享保の飢饉などで、財政が逼迫していた伊予小松藩。奉行の竹鼻正脩はその建て直し策として文武奨励に取り組むことを決めました。そこで招いたのが、明和3年(1766年)に宇摩郡小林村(現・四国中央市土居町)に生まれた近藤篤山です。篤山は生家の没落などの困難にも負けず、大阪の尾藤三洲のもとでひたすら学問を修めました。伊予小松藩の儒官となった篤山は、藩校「養正館」を開校。以降、40年以上にわたって藩の教育に力を尽くしました。また夜は自宅の私塾で、藩内外の武士や庶民の教育にあたりました。現在、篤山の屋敷は「近藤篤山旧邸」として公開されています。

There are many prominent historical figures associated with the city of Saijo. Shinji Sogo served as the fourth president of the Japanese National Railways and made the vision of creating the bullet train a reality. Isamu Saeki joined Osaka Electric Tramway, the predecessor of the Kinki Nippon Railway Co., Ltd., and went on to achieve great success. Tokuzan Kondo was a Confucianist in the Edo Period who dedicated his life to education. Saijo City has museums that showcase the achievements of such forefathers, where visitors are invited to learn more about how they lived.

The Saijō Matsuri is a collective term for the festivals held every October at four separate shrines within Saijō City. They are Kamo Shrine, Iwaoka Shrine, Isono Shrine, and Izumi Shrine. The history of this event is old, and each shrine is said to have held its own separate festival since its establishment. It was after the Edo Period began in 1603 that the festival rituals came to include such extravagant undertakings of offering mikoshi (portable shrines carried on people's shoulders), dashi (mikoshi on wheels), and taiko drums to the shrine.



小松秋まつり

三島神社、河内八幡神社、石土神社、貴船神社の祭礼の総称です。だんじりが奉納されます。

祭りのチカラ 四国を代表する 勇壮華麗な「西条まつり」



丹原秋まつり

勇壮華麗なだんじりと神輿が集結して行われる「統一かきくらべ」が見どころです。



This section highlights some of the many tourist spots, events, and interests around Saijō City. One example is the Saijō Matsuri, one of the most famous Shintō festivals that is known for its dynamic, vibrant, and lavish rituals. The city, rich in fertile land, also offers many agricultural and other food products. You can also find well-equipped sports facilities, as well as temples, shrines, and hot springs that bring healing to the hearts and bodies of residents and visitors alike. These resources are prized gems shared by all people who live in Saijō, and are the driving force behind creating a prosperous future for the city.



西条市の「宝」にスポットをあて
未来へと進む「チカラ」とするために
このまちの魅力を紹介します！

西条のチカラ



毎年10月に開催される「西条まつり」は、市内の嘉母神社、石岡神社、伊曾乃神社、飯積神社の四社の祭礼を総称したものです。その歴史は古く、各神社の創建時より各々で祭礼を行っていたといわれています。現在のようにだんじり(祭り屋台)やみこし、太鼓台を奉納する大掛かりなスタイルになったのは、江戸時代に入ってからといわれており、以来、300年以上の長きにわたり、脈々と地元民によって受け継がれてきました。「西条まつり」は、体育の日の前々日と前日に禎瑞地区の氏子によって行われる嘉母神社祭礼からスタートします。10月14・15日には石岡神社祭礼、10月15・16日には伊曾乃神社祭礼と続き、10月16・17日の飯積神社祭礼でフィナーレを迎えます。

西条まつりの特徴は彫刻や装飾が施されただんじりの存在にあります。西条祭りに奉納されるだんじりの総数は115台にも及び、そのほかの神社などで奉納されているものを合わせる



水都・人めぐり

だんじりは地域の方々の誇り

西条だんじり彫刻(えひめ伝統工芸士)
石水 信至さん

わが家は五代にわたってだんじりの彫刻を生業としており、私自身は30台以上の彫刻を手がけました。だんじりは地域の方々の誇りですから、つくり手である私の責任も重大。皆さんの思いに応えるよう精進していきたいですね。

東予秋まつり

壬生川駅前にだんじりと神輿が集まって行われる「統一かきくらべ」、地区毎の獅子舞も知られています。

Saijō, a city that has the mountains and the ocean, is a region surrounded by an abundance of natural environments. It is also a "sports city," where people can enjoy all types of recreational physical activities. One of the greatest numbers of public sports facilities in the prefecture is located here, and the city pours great efforts into sports instructor training. Based on its Training Camp City Initiative, Saijō City is also actively working to attract and welcome professional and amateur teams from both around Japan and abroad bring their training camps here.



西条市総合体育館

アリーナ、トレーニング室、第1・第2格技室、弓道場などを備えた屋内競技の拠点です。

施設の環境が揃った 「スポーツ・シティ」 スポーツのチカラ



石鎚クライミングパークSAIJO
えひめ国体に向けて完成した山岳競技施設。リード競技とボルタリング競技の施設が整備されました。

温 暖少雨という瀬戸内式気候にあるだけでなく、山・川・海と自然環境に恵まれた西条市は、そのすべてのフィールドで、一年を通じスポーツを楽しむことのできる「スポーツ・シティ」です。市内には西条運動公園・東予運動公園・丹原総合公園・小松中央公園と、各所にスポーツと憩いの空間が整備されており、愛媛県下でも屈指の公共スポーツ施設数を誇っています。また、マラソン大会・駅伝大会など市民の健康増進や交流促進を図るスポーツイベントのほか、次代を担う青少年を対象とした各種競技教室などが、毎月のように開催されています。さらに、西日本最高峰「石鎚山」は、持久力向上を期待できる高地トレーニングの適地でもあります。山間地でも春色が濃くなる頃に実施されるウォーキング大会には、1千人に近い市民が参加して、雄大な自然を楽しみながら気持ちの良い汗を流しています。西条市では近年、施設・環



ひうち球場・陸上競技場

日本女子ソフトボールリーグなどが開催されるひうち球場。陸上競技場は2種公認の本格的な競技場です。



水都・人めぐり

スポーツ・シティの支え役に

日本体育協会公認 スポーツトレーナー
久米 孝知さん

西条には高いレベルのスポーツ施設が揃っているので、プロの合宿地としてもアピールできると思います。また、私自身としては体づくりにおいて大切な小中学生の時期のケアなどから西条のスポーツに携わっていきたいですね。



ビバ・スポルティアSAIJO

総面積7,200㎡を誇る本格的な屋内運動場。トレーニング室や会議室、シャワー室なども完備しています。



The area of farmland in Saijō City is the largest in Shikoku region at some 5,000 hectares. Here, many crops are grown, including naked barley—the production volume of which is the largest in the country—as well as Atago persimmons and haru no nanakusa ("seven kinds of spring herbs"). Boasting the greatest production volume of paddy rice, melons, spinach, strawberries, and cucumbers in the prefecture, Saijō City is one of the most prominent farming areas of Ehime. The city has also been working on developing new types of agriculture in the recent years.



花き栽培

西条市丹原地区は、国内有数のバラの産地として知られています。ほかにデルフィニウムの栽培も盛んです。



ときめき 水都市

周ちゃん 広場

生産者が直接持ち込んだ農産物を中心に、季節の特産品や加工品が並び直売所。市外からも大勢の人が訪れます。



水都・人めぐり

生産者と消費者のつなぎ役に

シニア野菜ソムリエ **加藤 智子さん**

仕事柄、農業生産者さんと直接会う機会が多いのですが、皆さん情熱をもって農業をされています。自然の恵みを最大限に活かすマンパワーが、西条市の美味しい農産物の源。生産者と消費者のパイプ役になれば本望です。

農業のチカラ 官民一体でつくる 新しい農業のカタチ



観光農園

いちご、ぶどう、みかんなど西条市内では季節毎の観光農園がオープンし、人気です。

西 条市の経営耕地面積は約5,000ヘクタールにも及び、その広さは四国ナンバーワンとなっています。全国一の生産量を誇る裸麦や愛宕柿、春の七草をはじめたくさんの農産物が生産されています。また水稲やメロン、ほうれん草、イチゴ、きゅうりは県下の生産量を誇り、愛媛でも屈指の農業地帯となっています。中でも、近年全国区の人気を誇っているのは、西条の伝統野菜である「絹かわなす」。絹のようになめらかな皮に包まれたなすは、まるでフルーツのような瑞々しさです。その秘密は名水百選に選ばれた「うちぬき」の水をたっぷり与えながら育てていること。西条の名水によって生まれた食感や味は、生食や浅漬けにすると際立ちます。これらの多彩な野菜や果物を販売する産直市や収穫体験のできる観光農園には、県外からも多くの観光客が訪れ、農業と観光のコラボレーションが実現しており、官民一体で観光客の誘致にも努めています。

このほか、西条のおいしい野菜を解説する技能を持った野菜ソムリエを育成するため、資格取得講座を開講し、資格取得経費の助成も行った結果、現在では百人以上の野菜ソムリエが市内で活躍しています。こうした農業に関連する恵まれた資源や環境を活かすべく、西条市では農産物の生産、加工、流通などの機能を集積化する「総合6次産業都市」の実現を目指し、多様な取組を積極的に展開しています。2011年には日本経済団体連合会から未来都市モデルプロジェクトの実証地域に選定され、先進技術を用いた農業の実証実験を開始しております。また、2015年には政府から地方創生のモデル事業となる地域再生計画の認定を受けるなど、官民一体となった取組が全国から注目を集め、地域農業を活性化させる先進的な施策が展開されています。



食の創造館

西条市の地域ブランドづくりの拠点。食料産業の情報発信や食育などに積極的に取り組んでいます。



At Saijō, there are numerous well-known local specialty products that are made using the uchinuki, such as saké (Japanese rice wine), tōfu, and confectionaries. Many seafood products are also made here. The high-quality nori (dried seaweed sheets) and chirimenjako (dried young sardines) are very popular. In the area of traditional crafts, hōsho (thick, quality Japanese paper used for special ceremonies) and danshi (Japanese paper made of mulberry fiber) have been made here since 1831 and boast a 90% share in the country.



水産物

瀬戸内海で水揚げされた新鮮な海の幸は、西条市の自慢のひとつです。海苔の養殖も盛んに行われています。

営みのチカラ 伝統と革新が共存する モノづくり西条



農産物

絹かわなす、春の七草、水稻をはじめ裸麦、イチゴ、きゅうりなど多彩な農産物が栽培されています。

西条市の地域資源の代表は名水・うちぬき。しかし、西条市内ではうちぬきそのものを販売はしていません。市内の各所に自由にうちぬきを汲める場所があります。一方で、うちぬきの魅力を多方面で活かすべく、天然水を使用した多彩な特産品がつけられています。そのひとつが市内6カ所に蔵元がある日本酒。高い杜氏技術と名水仕込みのお酒は市場でも人気が高く、プレミアム商品として扱われているものもあるほどです。このほか、うちぬきは豆腐、湯葉、菓子などの加工品にも用いられています。農産物の印象が強い西条市ですが、実は魚介類も豊富に水揚げされています。海産物の加工品の製造も盛んで、良質の海苔やちりめんは土産品としても好評。市内の飲食店では魚介類や加工品を素材にした海の幸が存分に味わえます。変わり種としては、現在売り出し中の「西条てっぱん



水都・人めぐり

伝統の技を受け継いで

東予手すき和紙振興会 森田 高昌さん

旧東予市の伝統工芸である手すき和紙の技術。現在は6人の職人がその技術を守っています。様々な技法を学びながら、今後はインテリアや雑貨など、一般向けの製品も提案して、新たな和紙の魅力を発信したいと思っています。



名水ブランド商品

うちぬきで育った四季折々の農産品、うちぬきで仕込んだ加工品は、「名水ブランド」として市場で人気です。

Saijō City has many distinguished shrines and temples, including four stop sites for the Shikoku Pilgrimage course, the Ishizuchi Shrine (main shrine) that worships Mount Ishizuchi as a holy site that holds sacred deities, the Gokurakuji Temple which is the main place of worship for the Ishizuchi faith followers, and the Isono Shrine that worships Amaterasu-ōmikami (the sun goddess). Visitor can also fully enjoy the many natural hot springs that are scattered around the city. Be sure to also check out the beautiful sceneries created by the self-pumping ground water called uchinuki, and the "Thousand Winds Monument" that honors those who have passed away.



本谷温泉

道後温泉や鈍川温泉とともに「伊予の三湯」と称される愛媛の名湯。日帰り入浴や宿泊が可能です。



椿温泉こまつ

松山自動車道の石鎚山ハイウェイオアシス館にある温泉。ドライブ途中の癒しスポットとして人気です。



うちぬきから西条の魅力発信

ガイドと歩く西条水巡りツアーガイド 越智 敏彦さん

10人の仲間とともにボランティアガイドとして活動しています。何でも西条市の地下には甲子園球場600杯分の水があるそうですが、そんな土地、ほかにはないと思います。うちぬきを通して、西条の魅力を知らせてあげたいですね。

癒やしのチカラ 人々を癒やし、慰める おもてなしの聖地へ



西条市には四国霊場第60番峰寺、第61番香園寺、第62番宝寿寺、第63番吉祥寺、第64番前神寺の5つの札所があります。古くから祈りを抱えて巡礼する白装束のお遍路さんを温かく迎え入れてきたため、この地には「おもてなし文化」がしっかりと根付いています。また霊峰・石鎚山を御神体とする石鎚神社(本社)、石鎚信仰の根本道場である極楽寺、天照大神をまつった伊曾乃神社など由緒ある神社仏閣も数多く、地域には伝統や自然を敬う心が培われ、市民も古き良き文化を大切にしながら心豊かに生活しています。

「心の癒やし」を受け入れるのが寺社ならば、「身体の癒やし」を担うのが市内に点在する温泉施設です。松山市の道後温泉、今治市の鈍川温泉とともに、「伊予の三湯」と称される「本谷温泉」は、大明神川のほとりにたたずむ風情豊かな温泉。周辺にはキャンプ場や散策道を整えた公園も整備されており、家族皆で楽しめる評判です。眺めの

良きで人気なのは「休暇村瀬戸内東予」。「日本の渚100選」の桜井海岸と瀬戸内の多島美を一望できるロケーションは気分をリフレッシュさせてくれることでしょう。ユニークなのは松山自動車道の石鎚山ハイウェイオアシスに整備された「椿温泉こまつ」。ひうち灘を遠望する爽快なロケーションとともに、心ゆくまで湯あみを楽しめます。ほかにも温泉施設は多数あり、市内にいなながら湯めぐりを満喫できます。さまざま「癒やし」を提供している西条市、その新たな癒やしスポットとして注目を集めているのは、西条図書館北側緑地に整備された「千の風になって」歌碑モニュメントです。周辺のアクトピア水系の景観になじんだ美しいドーム型のモニュメントは、地元石鎚山系の緑泥片岩を使用してつくられました。この場所に立ち、旅立った方を偲ぶひとときは、しみじみと心に染みることでしょう。

「千の風になって」歌碑モニュメントと「白い羽のポスト」

「白い羽のポスト」がある西条市図書館の北側緑地に、「千の風になって」歌碑モニュメントが完成しました。



誰もが自分らしく暮らせるまち

赤ちゃんから高齢者まで、市民の一人一人がより充実した生活環境を実現できるようサポートします。

1 健康づくりの推進

誰もが健康で豊かな生活を送ることができる活力ある地域社会の実現に向け、市民の健康寿命の延伸及び生活の質の向上を図るため、ライフステージに応じた健康づくりのための施策を推進します。



また、自らの健康や家族の健康を守る主体的な活動を支援し、保険制度の円滑な運営に努めます。

さらに、えひめ国体を契機に交流人口の拡大に努め、市民のスポーツ競技力の向上を目指すとともに、誰もがスポーツやレクリエーションに親しむことができる環境づくりに取り組みます。

3 子育て環境の充実

少子化や核家族化、女性の社会参加が進むなど、子育て環境が変化中、次代を担う子どもと子育て家庭を地域全体で支え合うしくみを構築します。



また、多様化する保育ニーズに対応するため、相談体制を強化するとともに、現行の保育サービスの見直し・充実を図ります。

さらに、すべての家庭が安心して子育てできるよう、子育て支援サービスの充実を図るとともに地域の子育て環境の整備を図ります。

2 福祉の充実

人口構造が変化し、家族や地域における人間関係の希薄化が懸念される中、高齢者や障害者をはじめ誰もが住み慣れた地域で生活できるよう、お互いに支え合うことのできる社会の構築に努めます。



また、誰もが地域社会の一員として、生きがいを持って安心して生活ができるまちづくりを目指します。

さらに、民生委員・児童委員やボランティア団体等と連携を強化し、地域福祉活動を積極的に推進します。

4 医療体制の充実

新医師臨床研修制度の影響により医師の都市部への偏在と診療科の偏在が顕著になり、医師不足が大きな問題となっています。



西条市休日夜間急患センター

こうした中、引き続き医師確保に努めるとともに、近隣地域との救急医療体制を構築し、医療サービスを安心して受けることができるよう、関係機関との連携を図り、地域医療体制の維持・充実に努めます。

また、市民の医療ニーズを的確に把握し、適切な医療費の助成を通じて福祉の向上を目指します。



健やかに
生き生きと
暮らせる
福祉の
まちづくり

生き生きと暮らせる西条市です！



日本陸連S級公認審判員 平田 数秋さん

私は現在82歳ですが、若いときに始めた陸上競技に、今も現役で取り組んでいます。会社員として働きながら競技していたころと違い、今は自分の時間がたっぷりありますから国体などさまざまな大会にエントリーし、全国一になることも多いんですよ。自然豊かな西条市は、練習場所もたくさんありますし、スポーツをしていると若い方とふれあう機会がたくさんあるので生き生きと日々を過ごすことができます。

「西条人」に
聞く

2

豊かな自然と共生するまちづくり

水をめぐる環境整備

うちぬきと呼ばれて、市民に親しまれている自噴水はかけがえのない財産。豊かにめぐらすことで暮らしに潤いを。

1 自然環境の保全

石鎚山から河口干潟、燧灘まで多様性にあふれる自然の生態系は西条市の恵まれた資源であり、次の世代に引き継いでいきます。



そのために、無秩序な開発を抑制し、自然の生態系や希少生物の保全に取り組みます。

また、市民一人一人がその貴重な財産に気づき、自ら行動して保全活動に参加できるよう、実践的な環境教育を推進します。

2 水資源の保全

地下水を含む水資源は、市民の暮らしや産業及び観光に欠かすことのできないものであり、地域の経済発展との均衡に配慮しながら、全市民の積極的な水資源保全への取り組みが求められています。



地下水の流動が水循環の一部を構成していることから、地域の共有の財産「公水」であるという認識に立ち、地下水を様々な脅威から守り、育み、適正に利用して、健全で持続可能な水循環システムを未来へ継承していかなければなりません。

そのため、水資源強化策である保水(土)能力の高い森林の整備や地下浸透機能の向上に取り組むほか、水資源の質と量の調査・監視を行い、水利用における条例等を策定します。

※1 3R: リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再生利用)の略。
※2 ゼロエミッション: 生産活動に伴い発生するごみや排熱を、他の生産活動の原材料やエネルギーとして利用し、生産・流通・消費・廃棄のプロセスを再編成することによって、個々の産業で生じる廃棄物を社会全体としてゼロにしようとする考え方。
※3 エコツーリズム: エコロジーとツーリズムを組み合わせた造語。動物園などの自然資源に恵まれた地域で、自然環境との共存を図りながら、自然観察を行ったり、昔の生活や歴史を学んだりする新しい形の観光。
※4 新エネルギー: 太陽エネルギーや風力エネルギー等の自然エネルギーや、メタノール・天然ガス等、燃焼時に有害物の排出が少ないエネルギー等、環境への負荷が少ないエネルギーの総称。
※5 アセットマネジメント: 施設の中長期的な損傷・劣化等を予測し、計画的かつ効率的な維持管理を行う考え方。

3 生活環境の整備

快適な暮らしを守るために、騒音・大気汚染・水質汚濁・悪臭等の公害防止に努めるとともに、廃棄物の適正な処理、3R※1の促進による循環型社会の構築、不法投棄の防止等といった、環境に配慮しゼロエミッション※2を目指した施策を、市民・企業・行政が一体となって推進します。



また、生活排水及び事業所排水対策等に取り組みます。更には、河川や道路等の公共の場の環境美化に積極的に取り組み、安全で、美しさとうるおいを感じる生活環境を創造します。

4 環境資源を活かした地域づくり

本市の恵まれた自然環境をまちづくりに活かし、対外的にアピールすることにより、地域のイメージの向上を図ります。



恵まれた水資源については、水を活かした都市環境の形成をさらに推進し、「水の都」の魅力のアピールします。

太陽光発電パネルを設置した市役所新館

また、石鎚山系などの自然環境を利用したエコツーリズム※3の推進を支援します。

さらに、省エネルギーや新エネルギー※4の利用を推進し、地球温暖化の防止や環境への負荷の少ない地域社会の形成を目指します。

5 上下水道の整備

安心で快適な生活環境の創造を目指して、上水道については、安全でおいしい水を安定的に供給するために、地震対策や老朽化した施設の更新などを計画的に進め、下水道については、計画的な整備と普及促進を図り、アセットマネジメント※5の導入により効率的かつ効果的に施設を管理・改築していきます。



また、上下水道共に経営の健全化・効率化を推進し、経営基盤の強化を図っていきます。

大切なうちぬぎの水を守り続けたい

西条市婦人会
青木 浩子 さん

「西条人」に聞く
水の恵みに感謝

西条に嫁いで50年になりました。最初は水が美味しかったです。コーヒーやお漬物も、うちぬぎを使えばより美味しく仕上がります。西条市民にとっても身近な水ですが、あつて当たり前ではなく限りある資源だということを忘れてはなりません。子どもたちにも水を大切にすることを伝えてほしいという思いから、婦人会としてうちぬぎについて勉強するボランティア活動なども行っています。



機能的で未来を見すえた 発展するまちづくり

四国の交通の要衝としての特性が生きる外へ向けての交通網の整備や、暮らす人にやさしい整備に取り組みます。

1 交通体系の整備

道路については、幹線道路（小松バイパス整備・今治小松自動車道全線開通等）の早期実現を要望するとともに、国道11号・国道196号・主要地方道壬生川新居浜野田線などの主要幹線道路とのアクセス道路の整備を促進します。さらに、生活道路の整備についても、計画的かつ効率的な道路ネットワークを推進します。また、国道194号については、瀬戸内海側と太平洋側を結ぶ幹線道路であり、災害時には緊急輸送路としての機能が重要となってくることから、利用促進による沿線の活性化を図ります。



鉄道網については、四国における高速鉄道ネットワーク整備の早期実現に向け、県など関係機関と引き続き一体となって取り組むとともに、市内移動手段としての利用啓発に努めます。

海上交通については、愛媛県で唯一の関西航路フェリーが発着する東予港の機能強化を目指すとともに、海上ルートと道路ネットワークとの連携を図ります。

路線バス等の市民生活に身近な移動手段については、地域に寄り添う交通体系を目指すとともに、持続可能な公共交通機関としての拡充を図ります。

また、交通体系の維持管理においては、今後、急速な高齢化や南海トラフ巨大地震に対応するため、道路ストックや橋梁のアセットマネジメント※1を行い、計画的に長寿命化対策や耐震補強を実施します。

※1 アセットマネジメント：施設の中長期的な損傷・劣化等を予測し、計画的かつ効率的な維持管理を行う考え方。
※2 ユニバーサルデザイン：年齢や身体状況などにかかわらず、誰もが安全に使いやすく、わかりやすい暮らしづくりのために、製品や環境・サービスを設計する考え方。

2 市街地整備

都市基盤については、市民と企業がともに満足できるように、継続して充実していく必要があります。その際には、障害の有無や年齢にかかわらず、全ての人にやさしいユニバーサルデザイン※2の考え方を持ったまちづくりを進めるとともに、循環型社会の構築を推進するために、木材を活用したまちづくりにも取り組みます。



駅周辺等の市街地については、公共施設整備や街路整備を通じて、快適な都市環境を形成し、民間活力の誘発を支援します。

3 港湾・河川の整備

産業活動及び地域の物流を支える拠点港として重要な役割を果たしている東予港について、港湾計画に基づき、耐震強化岸壁など港湾施設の早期着工・早期完成を目指します。



市管理河川・水路などについては、家屋の浸水被害の防止や軽減を図るため整備・改修を行います。

4 公園・緑地の整備

都市公園については、市民が親しみやすい施設として整備するとともに、安らぎと憩いの空間としての機能や、防災拠点としての機能の拡充に努めます。さらに、遊具や公園施設の維持管理についても、計画的に修繕や更新を行い、安全性の確保を図ります。



5 住宅・宅地の整備

木造住宅の耐震化を推進するなど既存住宅の安全性を確保するとともに、公営住宅の計画的な整備・充実を図り、良好な住宅環境を形成します。



3

快適な都市基盤の まちづくり

To build a city with a pleasant urban infrastructure, Saijo will work to develop an efficient, well-planned road network of arterial and residential roads. Similarly, the city plans to develop railroads and marine transportation with a view of linking them with the road networks. Additionally, various other infrastructure developments will be actively pursued, including urban planning, port improvement, and housing and residential land improvements.



もっと住みやすく
快適な街に！



西条市在住 一級建築士
塩出 佳太さん

道 路網の拡充など西条市の都市インフラ整備は年々充実の一途をたどっています。特に注目したいのは、道路を整備する際、歩車分離（歩道と車道の進入口を分けること）が積極的に行われており、市民の安全に配慮がなされていること。また私自身も工事に関わらせていただいた壬生川駅周辺再開発では、跨線橋をつくり人的な交流を促進。駅前公園をつくることで市民の豊かな生活がサポートされています。

人想いの整備



「西条人」に

安心は、暮らしやすさの原点

暮らしを脅かすさまざまな問題にまちぐるみで対応し、安全で安心して暮らせるまちとしてのポイントアップを図ります。

1 防災・減災対策の強化



風水害や津波、南海トラフ巨大地震等に備えて、防災・減災対策の強化や防災基盤の整備など、安全・安心なまちづくりを進めることが重要です。

市内全域における情報の的確な収集と、住民への迅速な伝達手段の構築を図るほか、山間部や沿岸部、河川流域など災害が発生する可能性が高い地域においては、優先的に必要な対策を講じます。

併せて、教育施設を含む地域の身近な公共施設については、耐震化や災害対応機能の強化を図り、災害時の避難所及び避難場所としての機能を果たせるようにします。

また、平時における市民一人一人の、防災・減災意識の醸成が重要であることから、12歳教育(防災教育)や防災訓練、広報活動等を通じて、意識啓発と知識の普及に努めます。

さらに、大規模な災害発生時に迅速に対応できるよう、消防・救急・救助体制を強化するとともに、“自助・共助”の中核を担う消防団や自主防災組織の強化及び結成促進や、様々な分野の企業・団体との災害時応援協定締結に取り組み、地域の防災力向上に繋げていきます。

2 防犯対策の推進



地域ぐるみの防犯活動を推進するため、市民・警察・学校・防犯協会等の関係団体との連携を図りながら、防犯パトロールや啓発活動に取り組むとともに、各自治会等が行う防犯灯の設置・維持を支援します。

また、消費者の安全・安心な暮らしを実現するため、専門の相談員による相談活動と併せて、消費者教育・啓発活動に取り組み、多様化・複雑化する消費者トラブルの防止に努めます。

3 交通安全対策の推進



市民の交通安全意識の高揚を図るため、警察・交通安全協会等の関係団体との連携を図り、交通安全運動の街頭キャンペーン活動や高齢者、子どもを対象とした交通安全教室など各種啓発活動の実施に努めます。

また、交通事故多発交差点や危険箇所等の交通安全施設を整備・充実し、交通事故の未然防止を図ります。



災害に強く
安全で安心して
暮らせる
まちづくり

Striving to create a disaster-resistant city where residents can live with a peace of mind, the city is working to enhance measures for preventing and reducing disasters by assuming the possibilities of windstorm and flood damage, tsunami, and great Nankai Trough earthquake. The city is also implementing anticrime measures that involve the communities, and traffic safety measures in cooperation with relevant entities such as the police department and Japan Traffic Safety Association (JTSA). The intention is to enhance these efforts not only by developing the tangible "hardware" aspects of these measures, but also the personal "soft" elements such as relationships with local residents.

「西条人」に
聞く

地域密着の防災活動

消防団としての役割は、地域のパトロールや消水利の確保、避難訓練などが主ですが、それらを遂行する上で大切なのは地域とのコミュニケーションです。特に近年は独居老人の方が増えているので、日常的に家庭訪問し、火元の確認などを行っています。また、各小学校で少年消防クラブを結成し、地域の消防団と一緒に活動したり、世代間の交流をしながら防災の意識共有に努めています。

西条市消防団西支団副支団長
越智建樹さん

防災意識の高い市民が
多いまちです。

豊かな人生をつくるのは 感じる心と受け継ぐ文化

児童生徒の学力向上と自主性や創造性を伸ばすことはもちろん、市民の学びの場を充実させ生涯学習を応援します。

1 学校教育の充実

学校教育を生涯学習の基礎と位置づけて、知・徳・体の調和がとれ、「生きる力」を持った心豊かでたくましい人材の育成を目指し、児童生徒一人一人の確かな学力の向上と自主性や創造性・協調性を伸ばすための学校教育に取り組みます。



また、地域の特性を活かした個性ある教育を進めるとともに、地域の人材の積極的な活用にも取り組むなど、家庭や地域社会との連携を図りながら、地域社会に開かれた教育を目指します。

2 地域文化の継承・形成

生涯学習施設等を活用し、団体やサークルなど市民の文化芸術活動を支援するほか、すぐれた芸術文化に触れる機会の充実を図ります。



また各伝統民俗芸能の継承に努めるなど、市民が参加・創造しながら地域に根ざした文化の形成を進めます。

3 歴史文化の保全・活用

史跡・建造物・美術工芸品ほか貴重な文化財の保存活用や、新たな文化財の実体把握に努めるとともに、その周知啓発を図ります。



また先人の顕彰を行い、その業績を広く周知するための施策に取り組むなど、郷土の歴史文化遺産の保全を通じた地域活性化を図っていきます。

4 社会教育の充実

市民一人一人が、それぞれのライフステージにおいて、自らの能力や適性、意欲に応じて学ぶことができる、より多様な学習機会の提供に努めます。



また、地域社会における「人づくり」のための教育力を向上させるとともに、市民の誰もが、生涯学習を通じて得た知識や能力を、社会に還元することができるような「しくみづくり」を推進します。

さらに、それらの生涯学習活動を推進し教育施設の利用促進を図るために、必要な公共施設の整備充実にも取り組めます。

5 人権・同和教育の推進

同和教育をはじめ、様々な人権問題を解決し、すべての人々の人権が尊重・保障される明るく住みよい地域社会の実現を目指します。



そのために、市民一人一人に広く人権意識が浸透するよう、人権・同和教育を充実していきます。

また、日常生活において、お互いの人権を尊重し行動することが文化として定着するよう、人権文化のまちづくりに関する施策を総合的に推進します。

5

豊かな心を育む 教育文化のまちづくり

In order to build a community with education and culture that nurtures "rich spirits and minds," the city has positioned school education as the foundation for lifetime learning and strives to cultivate human resources that possess the fortitude for living. The city, placing importance on passing down and developing the culture of the region, works to support its residents' artistic and cultural activities, and to protect the cultural assets associated with local prominent figures. Efforts will be made to provide a wide variety of learning opportunities for each and every resident.



地域活動が盛んで教育に熱心!



西条市PTA連合会会長
鳳慶洲さん

境だなど感じています。程よい田舎であることなど、西条は子育てにはいい環境だと思っています。

「西条人」に
結びつきが大切
地域との
結びつきが大切
一一 市二町が合併し10年。各地域の一体感を醸成するため、PTAとしても密に連携をとって足並みを揃えています。また、各小学校の「親子ふれあい活動」では、老人会や婦人会に協力いただき、三世代交流など地域一体となった活動を展開。私自身小学生と中学生の子どもを持つ保護者としては、各地区に教育施設が整っていたり、程よい田舎であることなど、西条は子育てにはいい環境だなど感じています。



元気なまちで人が輝く

大きく発展していくまちは、働く人たちの笑顔であふれています。

1 農業の振興

高い生産性と収益性を持つ「安定した強い農業」と「美しく活力ある農村」の実現を目指します。

そのために、農業生産基盤の整備や営農支援を行い、新規就農者の確保・育成にも積極的に取り組みます。

また、「地産地消」と連携した「食育^{※1}」を促進するとともに、農産物のブランド化、時代の流れを見据えた多種多様な農産物の販路拡大などを推進します。

そのほか、農業と観光とが連携したグリーン・ツーリズム^{※2}など、農業に関心を持つ市民や観光客に向けた取り組みも進めます。



2 林業の振興

森林の有する水源かん養^{※3}や土砂流出防止など多面的機能を持続的に発揮させていくため、造林や育林などの事業活動及び担い手の育成を支援します。

また、経営の安定化を図るために、高性能機械の導入支援や林道・作業道など林業生産基盤の整備を推進します。

併せて、木質バイオマス^{※4}の循環利用など、木材の利用拡大を図ることにより、林業の成長産業化を推進、地元産材を利用した公共施設や住宅の整備などを進めることで、林業の経営基盤の充実・強化に努めます。



3 水産業の振興

漁港や漁業関連施設の整備、魚介類の種苗放流や藻場づくり、漁場の清掃など、水産資源の確保と漁場環境の保全に取り組みます。

また、漁具等の近代化や新技術の活用及び漁業後継者の育成を支援します。

さらに、地元で獲れた水産物の地産地消を推進するとともに、魚食普及活動や観光と連携した取り組みを行うなど、市民が水産業に関心を持つ機会を創出します。



4 企業活動の活性化(ものづくり産業の振興)

企業が立地しやすい環境を整えるとともに、高付加価値型産業など多彩な分野の企業誘致を図ります。

また、既存企業の操業環境の向上、設備投資に対する優遇制度を強化するなど、企業留置対策を講じます。

さらに、中小企業のために、開発・販売・人材育成など様々な観点から総合的支援を行い、ものづくり産業の活性化を図ります。

5 商業の振興

秩序ある商業圏域の形成を図るとともに、各地区商店街や周辺商業地については、商工関係団体等と連携しながら地域が持つコミュニティ機能や安全・安心機能を強化し、にぎわいのある新しい商業施設として再生を図ります。



また、買い物弱者対策に取り組み、消費者が安心して買い物ができる仕組みづくりを目指します。

6 新規産業の創出

西条産業情報支援センターを拠点とした産学官金連携^{※5}や農商工連携のもと、新規産業の育成支援や既存産業の新規分野への事業展開支援に取り組みます。

また、第一次産業から第三次産業までの有機的な連携による「総合6次産業都市^{※6}」を目指すとともに、本市の豊かな水資源や自然環境など地域の特性を活かした新規産業の育成にも積極的に取り組みます。

7 観光産業の創出

本市の豊かな自然や歴史・産業・名水に育まれた産物などの観光資源を活用した魅力的な観光ルートを確認し、広く情報を発信します。



また、来訪者の多様なニーズに対応できるよう観光拠点の整備を図るとともに、市民が「おもてなし」の心で来訪者と交流を深めるなど受け入れ体制を充実し、国内観光客だけでなくインバウンド観光^{※7}の推進を図り観光客の増加に繋がります。

8 産業人材・雇用環境

西条産業情報支援センターや商工団体などとの連携のもと、地域の産業を担う人材の発掘・育成に取り組みます。

企業間・異業種間での情報交流や技術交流、幅広い人材のマッチングを通じて、中小企業を中心とした雇用環境の改善を支援することで地域企業の価値を高め、成長できる環境づくりを目指します。

9 西条の価値や魅力の向上(まちのブランド化)

優位性・独自性のある地域特有の資源を掘り起こし、積極的に全国に発信します。

また、西条ならではの特産品開発を推進し、西条ブランド戦略による効果を農林水産業や観光など多方面へ波及させることにより、地域経済の活性化を図ります。

※1 食育:食の大切さを知り、身体や心の健康を育むこと。
 ※2 グリーン・ツーリズム:農山漁村などに滞在し、農林漁業体験やその地域の自然や文化に触れ、地域の人々との交流を楽しむ旅のこと。
 ※3 水源かん養:洪水や濁水を緩和し、水質を浄化すること。
 ※4 木質バイオマス:再生可能な生物由来の有機性資源(化石燃料は除く)のうち木材からなるもの。(樹木の伐採や造材の際に発生する枝や葉などの林地残材、製材工場などから発生する樹皮やのこ屑など)
 ※5 産学官金連携:産(産業界=民間企業)、学(教育・研究機関)、官(行政)に加え、地域の金融機関が連携をはかること。
 ※6 総合6次産業都市:農産物の生産から加工・流通までの機能を単一の地方都市へ集約した都市のこと。
 1次産業(農林水産業)×2次産業(食品加工)×3次産業(流通・観光)=6次産業(総合産業)
 ※7 インバウンド観光:外国人旅行者を誘致すること。

活力あふれる産業振興のまちづくり

To promote a vibrant industrial recovery, the city will provide support for building infrastructure and human resources for the local agricultural, forestry, fishing, and other industries, while making sure that the unique qualities of the city are preserved. Saijō City will also work towards creating new industries and branding the city in order to sustainably develop the regional economy, in addition to working to revitalize green tourism, its product creation (monozukuri) and commercial industries.



「西条人」に聞く

丹原 誠

農業はまだ成長できる産業

15年、私が継いで6年目になります。単なる観光農園ではなく違った楽しみ方を提供したいという思いからイチゴ農園の傍らでカフェを開きました。イチゴ農家でしか食べられないものを味わっていただき、消費者の生の声を聞くことができるので励みになっています。これからは、農家もただ農作物を育てるだけでなく、現地に足を運んでもらうために工夫していくことが重要だと感じています。

青年農業者協議会会長・ゆきもと農園 行元 勝俊 さん

様々なアイデアで西条市の農家もがんばっています!

人に倣うなら

今日の西条市を築き
支えてこられた先人の方々。
その遺業を尊び
数々の功績に感謝するとともに
軌跡をひもとき学ぶことが
西条市のさらなる成長のための
指針となります。

We honor the great accomplishments
and give thanks to the many
achievements of our predecessors
who built and sustained the city of
Saijō and made it what it is today.
Unraveling and learning this history
will serve as guiding principles for
Saijō City's future growth.



故 村上 徳太郎氏

明治37年、現在の西条市中野に生まれる。大阪帝国大学大学院医学部を卒業。医学博士となって地域医療の向上に尽くされるとともに、愛媛県教育委員会委員、西条市長(第8・9・10代)等の要職を歴任され、市政の発展に尽力された。



故 十河 信二氏

明治17年、現在の新居浜市中萩町に生まれる。東京帝国大学政治学科を卒業。昭和20年第2代西条市長となり、市民の融和と市政の進展に努力され旧西条市の礎を築かれた。また、昭和30年には国鉄総裁に就任され、新幹線の生みの親となるなど、鉄道事業の発展に寄与された。



故 渡邊 武氏

大正13年、現在の西条市広江に生まれる。中城青年学校本科を卒業。壬生川町議会議員を1期、愛媛県議会議員を6期24年の長きにわたり務められ、県議会議長に就任されるなど、地方自治の伸張に尽力された。



故 河上 辰男氏

大正5年、現在の東京都世田谷区に生まれる。慶應義塾大学を卒業。壬生川町長、東予町長、東予市足後市長として、5期18年余りの長きにわたり市政を担当し、東予市発展の基盤づくりに尽力された。



故 桑原 富雄氏

大正12年、現在の西条市本町に生まれる。西条農業学校を卒業。西条市職員となり、西条市助役を経て、西条市長(第13・14・15・16代)に就任。地域経済の振興発展をはじめ、市政の各般にわたってその発展に尽力された。



故 伊藤 一氏

明治40年、現在の西条市黒瀬に生まれる。私立東京農業大学を卒業。広島県庁、愛媛県庁職員を経て、大保木村長、愛媛県議会議員、西条市長(第11・12代)に就任。半生を公共への献身一筋に歩まれ、東部臨海土地造成事業の着手等、県・市政の発展に尽力された。



故 西 健次氏

大正8年、現在の西条市小松町新屋敷に生まれる。西条農業学校を卒業。小松町議会議員となり、小松町助役を経て、小松町長(第3・4・5・6・7・8代)に就任。教育環境の整備。充実を図り文教の町を宣言するなど、卓越した政治力・行動力で小松町の発展に寄与された。



故 永野 眞平氏

明治25年、現在の西条市小松町新屋敷に生まれる。京都府立医学専門学校を卒業。長きにわたり児童・生徒・幼児の保健教育と健康保持に努められるとともに、地域医療活動の推進、住民の健康保全、予防の普及など、幅広い医療行政の発展に寄与された。



故 佐伯 勇氏

明治36年、現在の西条市丹原町長野に生まれる。東京帝国大学法学部を卒業。近鉄グループの総帥として生涯を社業の隆盛にささげられるとともに、佐伯記念育英会を設立するなど、教育文化の発展に寄与された。



田口 信教氏

昭和26年、現在の西条市国安に生まれる。広島修道大学大学院を卒業。オリンピックに3大会連続出場。ミュンヘンオリンピックでは、100m平泳ぎで世界新記録を樹立し金メダルを獲得するなど、数多くの国際大会で活躍された。

文化遺産

史に学ぶ

西条市は古くから開かれた文化の里。
縄文式文化、弥生式文化を伝える遺跡や出土品
また、重要文化財や名勝、
天然記念物などの貴重な文化遺産が
数多くあります。



河原津海岸 <県指定・天然記念物>

Saijō City is a land of culture that developed very early on. Therefore, it has many archeological sites and excavated articles that tell of the cultures of the Jōmon and Yayoi periods. It is also a place of many valuable assets such as Important Cultural Properties, sites of extraordinary beauty, and natural monuments.



興隆寺本堂 <国指定・重要文化財>

文中4(1375)年に再興された和様と唐様折衷の名建築。厨子、棟札、巻斗ともに国の文化財指定を受けています。



予州新居系図 <国指定・重要文化財>

東大寺戒壇院の長老示観国師凝然が、弘安4(1281)年、伊予の豪族新居氏の家系を詳細に書いたもので、日本三大古系図の一つにあげられています。



木造仏通禅師坐像

<国指定・重要文化財>

室町時代初期の優れた肖像彫刻。日本の仏像代表としてボストン美術館に展覧されたこともあります。



法安寺跡 <国指定・重要文化財>

飛鳥時代の建立とされる県下最古の寺院遺跡。聖徳太子の命により建てられたとも伝えられ、境内には塔と金堂の礎石が残されています。



毛槍投げ奴 <市指定・無形民俗文化財>



近藤篤山旧邸 <県指定・史跡>



永納山城跡 <国指定・史跡>

7世紀後半頃に築かれたとみられる西条市と今治市にわたる城跡。瀬戸内海を通じて近畿地方をめざす外敵を見張るためのものとされています。

西条のあゆみ HISTORY

平成16(2004)年

- 合併協定調印式(2・29)
- 新「西条市」誕生・開庁式(11・1)

平成17(2005)年

- 西条高校野球部16年ぶり5度目の選抜高校野球大会出場(3・23)
- 国の地域再生計画に「西条市起業家マインド醸成計画」
- 「西条市食品加工流通コンビナート構想」が認定(3・28)
- 西条市合併記念式典(5・27)
- 永納山城跡が国史跡に指定(7・14)
- 次世代育成支援スポーツ事業開始(8・9)
- 国の地域再生計画に「西条市カブトガニ天国再生計画」が認定(11・22)

平成18(2006)年

- 本谷温泉館の入浴者が200万人突破(2・22)
- 東予有料道路が無料化(3・31)
- 道前道後平野農業水利事業「志河川ダム」定礎(5・17)
- 宇高菜絵選手(西条市出身)が世界柔道選手権大会に出場(9・16)
- だんじり32台が伊勢市訪問(11・4)

平成19(2007)年

- 食の創造館オープン(4・1)
- 西消防署新築落成記念式典(4・3)
- 第24回ユニバーシアード競技大会の柔道女子57kg級で宇高菜絵選手が金メダル獲得(8・15)
- 第26回伊勢音頭フェスティバルにおいて伊勢市より2基の「御木曳(来西)(9・16)
- 鉄道歴史パーク in SAIJO(四国鉄道文化館・十河信二記念館・観光交流センター)オープン(11・26)
- アクアトピアが手づくり郷土賞の大賞部門に認定(12・2)

平成20(2008)年

- 一般国道11号・小松バイパスの一部区間が開通(3・22)
- 西条市合宿都市構想基本計画を策定(5・14)
- JANBO Awards2007(2)「産業情報支援センター」が「新事業創出大賞」起業醸成部門賞を受賞(6・12)
- 西条市中心市街地活性化基本計画を内閣総理大臣が認定(7・9)
- 長友佑都選手(4)(東京・西条市出身)が北京オリンピックのサッカー日本代表に決定(7・18)
- 今治市朝倉上の笠松山で発生した山林火災の延焼拡大を防ぐため、市消防職員・団員が懸命の消火活動(8・24)~(26)
- 東予運動公園に屋内運動場「ビバ・スポルティアSAIJO」が落成(11・2)
- 四国鉄道文化館に開館約1年で10万人来館(11・20)

平成21(2009)年

- 「千の風サミット」で、新潟市、北海道七飯町、西条市が「千の風になって」のまちづくりの連携を宣言(2・13、14)
- 経産省所管の「低炭素社会に向けた技術シーズ発掘・社会システム実証モデル事業」に「MTE冷凍冷蔵システムと食糧生産を結びつけた委託研究事業」が採択(2・25)
- 西条高校野球部が4年ぶり6回目の春の選抜大会出場(3・24)
- 西条市都市計画マスタープランを策定(3・25)
- 西条図書館・丹原図書館が開館(6・1)
- 西条市が特許庁の「知財先進都市支援事業」に採択(7・9)
- 2009全日本ジュニア綱引き選手権大会で玉津小学校が女子360kg以下の部で優勝、混合280kg以下の部で準優勝(8・2)
- ㈱トーヨ、道前工業㈱、西条市ものづくり科学創造クラブ(サイク)が第3回ものづくり日本大賞を受賞(8・4)
- 西条高校野球部が17年ぶり6回目の夏の全国大会出場(8・8)
- 災害復興5周年記念フォーラム(9・29)
- JAS西条・春の七草部会が愛媛農林水産賞優秀賞受賞(10・23)

平成22(2010)年

- 大阪市内で開催のV1(ベジワン)グランプリで西条特産「絹かわなす」が優勝(4・24)
- 2010FFFAワールドカップ南アフリカ大会に長友佑都選手出場(6・11)~(7・11)

- 東洋経済新報社「都市データバック2010年版」で西条市が成長力ランキング全国第77位、県内第1位(6・21)
- 「千の風物語」シンポジウム・朗読会〜全国から寄せられた素敵な手紙と物語〜開催(6・27)
- 東予港が国の「重点港湾43港」に選定(8・3)
- 「椿」千年の森づくり植樹(12・4)

平成23(2011)年

- (12歳教育推進事業)ぼうさい甲子園で大賞受賞(1・9)、防災まちづくり大賞で消防科学総合センター理事長賞受賞(1・26)
- 日本経済団体連合会(米倉弘昌会長)の未来都市モデルプロジェクトの実証地域に選定(3・7)
- 東北地方太平洋沖地震発生(東日本大震災)(3・11)
- 東日本大震災被災者救援のため緊急消防援助隊を派遣(3・14)
- 福島県相馬市への緊急支援助物資第1便が出発(3・20)
- 岩手県大槌町への緊急支援助物資第1便が出発(4・8)
- ベトナム・フエ市の副市長をはじめとする調査団が西条市の防災教育を学びに来西(7・31)~(8・5)
- 愛媛県知事・経団連副会長立会のもと日本経済団体連合会推進の未来都市モデルプロジェクト「西条農業革新都市」進出表明調印式(8・24)
- 西条市・保定市友好都市交流事業訪中団派遣(9・25)~(29、10・23)~(27)
- 旧大町公民館を改修し、ウイングサポートセンター開所(11・1)

平成24(2012)年

- 市職員を中国の在外公館へ外交官として派遣(1・9)
- 東部一般廃棄物最終処分場の受け入れ開始(5・1)
- 福島県相馬市と災害時応援協定を締結(5・19)
- 休日夜間急患センター開所・診療開始(7・1)
- 田滝集落が平成24年度豊かな暮らしづくり全国表彰農林水産大臣賞受賞(11・2)
- 青野勝市長初登庁・就任式(11・28)

平成25(2013)年

- 市長が各総合支所で執務を行い、市民の皆さんの声をお聞きする「移動市長室」がスタート(5・21)
- 市内在住の75歳以上の方を対象とした「いきいきバス」の運行開始(7・1)
- 「五百亀記念館」がオープン(8・1)
- 「夢の超特急ひかり号が走った十河信二」発売(9・2)

平成26(2014)年

- 市政懇談会〜市長とキャッチボール〜公民館単位で西条公民館を皮切りにスタート(1・22)
- 第1回総合6次産業都市推進会議開催(2・1、2)
- 「千の風になったあなたへ贈る手紙 第2章」「千の風物語」表彰式・受賞作品朗読イベント開催(3・20)
- 西条市役所新館開庁式(3・31)
- 東予港(中央地区)耐震強化岸壁事業化決定(4・1)
- 国の地域活性化モデルケースに「四国経済を牽引する総合6次産業都市「西条市」」が選定(5・29)
- 2014FFFAワールドカップブラジル大会に長友佑都選手出場(6・12)~(7・13)
- 四国鉄道文化館南館開館、四国旅客鉄道㈱と四国鉄道文化館に関する連携協定を締結(7・20)
- うちぬき倶楽部情報交換会(東京・大阪)開催(7・23、30)
- 第96回全国高等学校野球選手権愛媛大会で、小松高校野球部が初優勝。甲子園初出場(7・29)
- 西部ウイングサポートセンターオープン(8・1)
- 柔道世界選手権2014チェリヤピンスク大会女子57kg級で宇高菜絵選手が金メダル(8・27)
- 河原津沖合でカブトガニ成体を18年ぶりに発見(9・19)
- 合併10周年記念式典・市民憲章制定(11・1)

平成27(2015)年

- 地域再生計画(「四国経済を牽引する」総合6次産業都市「推進計画」)が内閣総理大臣から認定(1・22)
- 第2回総合6次産業都市推進会議(1・31)~(2・1)



合併10周年記念式典
H26.11.1



市政懇談会 市長とキャッチボール
スタート H26.1.22



青野勝市長初登庁・就任式
H24.11.28



「西条農業革新都市」進出表明調印式
H23.8.24



「千の風物語」シンポジウム・朗読会
〜全国から寄せられた素敵な手紙と物語〜 H22.6.27



西条図書館・丹原図書館開館
H21.6.1



鉄道歴史パーク in SAIJOオープン
H19.11.26



合併協定調印式
H16.2.29



西条市

恵まれた環境をさらに活かしたまちづくりを。

おだやかな瀬戸内海と霊峰 石鎚の間にある西条市は、ゆたかな自然の情緒あるところ。四国の北側 ほぼ中央に位置することから、交通の要衝でもあり、大きな可能性を秘めています。

SAIJO MAP

Saijō City, located in between the tranquil Seto Inland Sea and the sacred Mt. Ishizuchi, is a place of rich nature that conjures great sensibilities. As it is situated almost at the center of the north side of the Shikoku region, it is an important transportation center and therefore, a place of great possibilities.

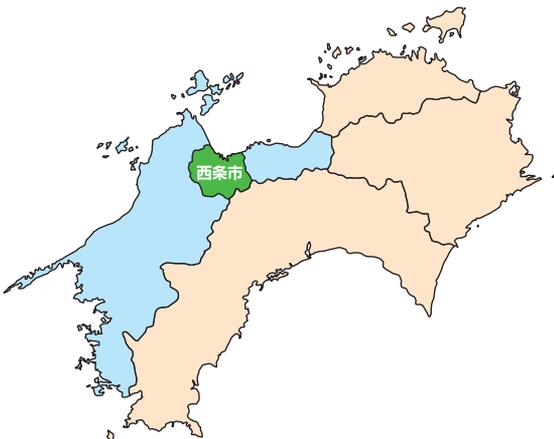




西条市のプロフィール

西条市は、愛媛県の東部、道前平野が広がる地域に位置しており、北は瀬戸内海に面し、南は西日本最高峰の石鎚山(標高1,982m)を中心とする石鎚連峰を背にし、瀬戸内海地方特有の温暖な気候に恵まれています。市街地では地下水が自噴しており、名水百選にも選出されたように「水」が全国的に有名な風光明媚な土地柄で、人口は112,769人(平成27年2月末現在)です。

また、四国一の経営耕地面積と四国有数の製造品出荷額等を誇る当市は、農業と工業がバランスよく発展しているまちで、これらの地域資源と総合力を活かしつつ「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現を目指しています。



市勢要覧 西条市 2015年

〒793-8601 愛媛県西条市明屋敷164番地
電話:0897-56-5151 ファクス:0897-52-1230
URL:<http://www.city.saijo.ehime.jp/>
Eメール:kohokocho@saijo-city.jp

表紙の「西条風趣」の文字は作家・新井満氏に
揮毫していただいたものです。

制作 セキ株式会社